

平成28年度 株式会社コマツハウジングの取り組み事業

■ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の取り組みについて

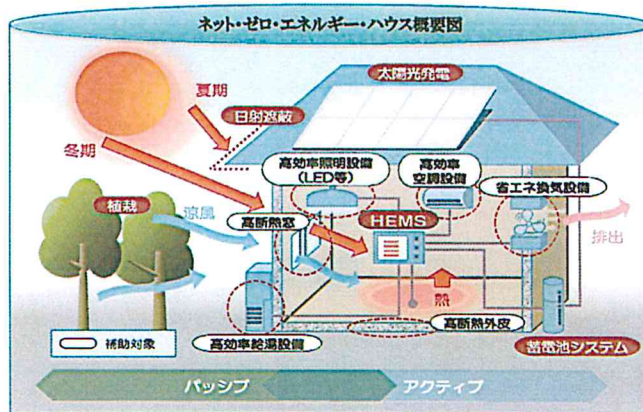
我が国では「エネルギー基本計画」（2014年4月閣議決定）において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなる住宅（以下、「ZEH」という）の実現を目指す」とする政策目標を設定しています。経済産業省資源エネルギー庁は、この目標の達成にむけたZEHロードマップの検討をおこない、そのとりまとめを2015年12月に公表しました。

本事業の趣旨ならびに、「ZEHロードマップ」の意義に基づき、自社が受注する住宅のうちZEH（Nearly ZEHを含む）が占める割合を2020年度までに50%以上とする事業目標（以下「ZEH普及目標」という）を掲げます。

■ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

住宅で使用するエネルギー消費量を削減させるために断熱強化と設備性能の向上を図り、太陽光発電やHEMS等の制御管理システムを組み合わせることで、住宅の年間一次エネルギー消費量が正味（ネット）で概ねゼロとなる住宅をさします。

※ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス概要図参照



■ZEHの定義（エネルギーを創る住宅）

ZEHの「高断熱基準」「設備の効率化」で20%以上の省エネを満たした上で、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、正味（ネット）でゼロ・エネルギーを目指す。

○正味（ネット）で75%省エネを達成したものを「Nearly ZEH」※狭小住宅等

○正味（ネット）で100%省エネを達成したものを「ZEH」

■ZEH普及目標

<自社が受注する住宅のうちZEH（Nearly ZEHを含む）が占める割合>

	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)
新築・既修	0%	10%	20%	35%	55%

■ZEHの周知・普及に向けた具体策

ホームページやチラシでZEHに取り組むことを告知し、ZEHを組み込んだ対象商品を新たに自社製品に加え、お客様にご提案します。取り組んだZEH住宅の構造、完成見学会を開き、普及に努めます。床は床暖房も可能な無垢のフローリングで夏は涼しく冬は暖かい住宅を提案。太陽光発電と無添加住宅の石屋根を組み合わせ、風通しの良い住宅を実現。炭化コルクによる断熱性能のアップ、漆喰の塗り壁により室内の調湿効果を上げるとともにエアコンなどの高効率空調設備を使用してエネルギーを削減し、HEMSなどの管理システムを用いて居住者の意識も高め、省エネルギー化を実現させ、正味（ネット）で100%省エネを達成します。

■ZEHのコストダウンに向けた具体策

設計段階から、躯体の断熱性能、間取りなどを工夫します。

具体的には、建築用地の方位に合わせて、太陽光発電パネルの設置を見据えた間取り提案をし、太陽光発電でより多くのエネルギーを創り出せるようにします。窓の位置も工夫して風の通りを計算し、落葉樹による植栽と合わせて夏は涼しく冬は暖かい間取りをご提案。よりよいものを標準にできるように、業者とコストダウンに努め、高断熱サッシや、LED照明などの高効率照明設備、太陽光発電を標準にできるように努めます。

■その他の取り組みなど

目標数値達成のためだけでなく、健康で長く住むことができる住宅の普及に向けて、ZEH基準で建築した住宅の見学会を行い、室内環境、過ごしやすい空間を体感していただきます。実際に住まれたお施主様の生の声を、ホームページやチラシに載せるためにアンケートを実施します。ZEH基準に自社が取り組む無添加住宅を組み合わせた住宅のご提案をすべての住宅でできるように、標準仕様を見直します。